



同窓会だより

校訓
けいしんあいち
敬心愛知
けんしりょっこう
堅志力行

広島県立三原高等学校第73回卒業生を、同窓会新会員として迎えました。

ご卒業おめでとうございます

同窓会 会長
戸野 法史 (23回生)



筆影山の山塊を穏やかに包む霞が、沼田川の水面に輝く優しい光が春の到来を告げるこの良き日に、三原高校での学びを終えられ、新たな旅立ちの日を迎えられました。同窓会を代表し、卒業される皆様に『ご卒業おめでとうございます』というお祝いのことを贈ります。

多くの同窓生は、皆さんがそれぞれの夢を胸に新たな一歩を踏み出されることをお祝いするとともに、その夢が実現されることを願っています。

夢を抱き続けることはとても大切なことなので、夢を目標に変えることを勧めます。夢に『いつまでに』という時間的な限界を設けたときに、夢は目標が変わります。そうすれば、目標を達成するために、何を体得し何を留意するのか、自ずと手段やプロセスも明らかになり、努力を重ね精進することが少し楽になりますよ。

さて、23回生の私が校舎から見ていた風景は、今でも

その姿を変えていません。随分と昔のことなので、その時の心境はすっかり忘れていますが、3年生の2月、寝台特急「あさかぜ」に乗って受験のために東京に向きました。夜の9時過ぎに三原駅を出て、早朝の7時過ぎに東京に到着する11時間余りの一人旅でした。それから50年という時間をかけて技術革新が進み、新幹線だと4時間の移動時間に短縮され、空間的な距離感も徐々に縮まってきました。

しかし、今回の『ウイズコロナ』と言われるDX化を伴った社会構造の変化は、一年余りの間に急激に進みました。皆さんは、在学中に新型コロナウイルス感染症に対応する社会構造への転換が図られたため、時代が変わる大きな流れを肌で感じたと思います。DX化が進めば、オンラインの活用によって、時間や距離の制限から解放されたスムーズな交流が可能になりますが、一方で旧来型の人間関係は希薄なものに変わる可能性も大きいと危惧しています。

『ウイズコロナ』下では、社会構造の急激な変化に対応できる能力を備えていることが求められると思いますが、それに加えて多様なスタイルの人間関係を育む力を兼ね備えた若人として成長されることを期待しています。

卒業生への祝辞

同窓会関西支部 支部長
田中 道裕 (18回生)



皆様、この度はご卒業おめでとうございます。

残念ながら高校生活3年の内最後の2年間はコロナ禍に翻弄され、とても素直におめでたいとは思えない人が多いのではないかと同情致します。収束に向かってきたコロナ感染は、オミクロンという新種の突然の出現で、またしても予断が許せない事態になっています。しかしながらワクチン接種は確実に進み、治療薬も着実に整ってきています。自然の猛威に対し、人間の英知は負けてはいません。今年春過ぎまでには以前の日常に近いところまで復帰できるの

ではと期待しています。

皆様がこれから進もうとされる世界は、ITを駆使した変化の激しい、複雑なデジタル世界です。これは益々加速されるでしょうが、皆様にとってはチャレンジな世界のはずです。情報アンテナをしっかりと張って振り落とされない様、頑張ってください。

卒業後移られる新しい環境では、一日でも早くその環境に馴染み、この2年間出来なかった分を2倍/3倍にして取り返して下さい。

これからも益々のご健勝を祈念しています。頑張れ、73回生！

関西地区に移住される方は、是非とも当同窓会関西支部にご入会下さい。コロナ禍で会員数は若干減りましたが、今でも100余名の会員がいて色々活動をしています。

創立100周年記念式典を終えて

校長
船倉 功



同窓会の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校教育の充実に多大なる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

1年延期となっていた創立100周年記念式典を、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じて、11月14日(日)に無事に開催することができました。創立100周年記念事業に御支援、御協力を頂いた皆様に改めて御礼申し上げます。

記念式典に先立って、創立100周年を記念して整備された庭園に校歌の歌詞を刻んだ記念碑を設置していただき、10月23日(土)に除幕式を行いました。除幕式は、創立100周年記念事業で整備していただいたICT環境を使ってリモートで各教室にライブ配信し、除幕式を終え

た後のホームルームで、同窓生でもある三次前校長から各教室の生徒に、三原高校の歴史と校歌の歌詞についてオンラインで講話をしていただきました。11月14日(日)の記念式典の後には、株式会社広島銀行代表取締役会長の池田晃治様に「わたしの堅志力行」という演題で御講演を頂き、変化の激しいこれからの時代を生きていく上でも重要な多くのことを学ぶことができました。

生徒たちが、創立100周年記念式典に関連したこれらの行事から本校の歴史、校歌、校訓などについて改めて理解を深め、今後の三原高校と三原高生の成長や、自分自身の「堅志力行」・生徒全員の「堅志力行」についてみんなで考え、また学年を超えて共有する機会を得たことは本当に意義深いことであったと思います。

創立100周年を節目とし、本校の教育目標と育てたい生徒像の実現に向けて、心を新たに本校発展のために邁進する所存です。同窓会の皆様におかれましては、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

活躍する同窓生の皆さん(野球部OB)

三原高等学校では、伝統的に学業とともに部活動が活発に行われています。今回は野球部での活動経験を持つ多くの同窓生の中から、3人の方に卒業生の皆さんへの餞のことばをいただきました。

新田 晃弘さん(40回生) 学校法人尾道学園 尾道中学校・高等学校 主幹

硬式野球部が選抜大会広島県推薦校に選ばれ、残念ながら中国地区推薦校になれませんでした。野球部OBとして、また同一の尾三地区高等学校の教育に携わる者として、このコロナ禍の中、勇気を与えてくれた大きな話題でした。現役生のみなさん本当にありがとうございます。

私は、限られた時間・環境の中、野球部で活動させていただきました。当時の監督 谷田先生からは技術はもとより人としての有り様を、そして進路も含め一人ひとりの特徴を踏まえてご指導いただきました。最終学年では、春季県大会と夏の全国高校野球広島県予選でベスト4まで進出することができました。

当時の三原高校の先生方をみて、こんな指導者になりたい。夢を叶える生徒を育てたいと思い、日本体育大学に進学、卒業後4年間母校で勤めたのち、尾道高等学校で採用。現在に至ります。現在、教壇には立つてはおりませんが、小学校や中学校での出前授業や教育講演会に招かれることもあり、尾道学園の生徒募集活動を任せてもらっています。卒業生の皆さん同様、受け入れることと同じように送り出す重要性を、変わらず持ち続けています。

卒業生のみなさんおめでとうございます。そしてこの3年間関わっていただいた方々の想いを、「感謝」の気持ちを持って次のステージに活かし、ぜひ次の世代へバトンタッチして欲しいと思います。



松下晃典さん(49回生) 一級建築士

三原高校では同窓会会長の戸野先生に歴史を、副会長の三次先生に数学と野球を教わり充実した3年間を過ごしました。お二方から学んだ歴史を紐解き未来を想像する力や数字に基づくデータ分析力、野球で培った失敗しても諦めずやり抜く力は今も仕事に活かしています。もちろん他の先生方からも多くの事を教えていただきました。大変感謝しております。

卒業後、大学で建築を学び、東京の設計事務所に就職。東京大学の理想の教育を追求する一般教養棟、国のデータセンター、東京オリンピック警備強化のための警察署の設計等を行ってきましたが、縁あって4年前に広島に戻ってきました。

広島では今年の夏に行われた旧市民球場Park-PFI(写真参照)のプロポーザルにアサインされ、受注に貢献。私の高校野球最後の試合は広島市民球場でしたので受注は本当に嬉しく、これから実施設計だぜ!と思った10日後に仙台のプロジェクトにアサインされ、現在は仙台で「せんだい都心再構築プロジェクト第1号」となる超高層ビルを担当しています。人生は楽しいですね。

建築設計もCOVID-19によるICT化の流れにより大きな変化を求められています。今携わっているビルで一番実現したいことはAIを使つての未来予測。ユーザーの一步先を予測しエスコートする。そんなビルを考えています。

ドラスティックに考え方が変わる時代で、やりたいことや勉強したいことがたくさん毎日の毎日ですが、誰かに喜んでもらえるよう精進しております。

皆さんも色々な事に挑戦し未来を楽しくできるように、共に頑張ってみましょう。



宮本健志さん(49回生) 広島東洋カープ トレーナー

高校時代は野球部に所属し、振り返れば野球に明け暮れた高校生活でありました。私は東広島市安芸津町の出身です。野球部では朝練があったため、始発列車で通学しておりました。夕練後は1時間に1本しかない電車に乗り遅れないように、三原駅までよく走っていたことを思い出します。部員は少なかったですが、限られた環境で、厳しくも楽しい学生生活を送りました。

高校3年生最後の夏の大会は1回戦負けでありましたが、旧広島市民球場で試合ができたことは一生の思い出です。

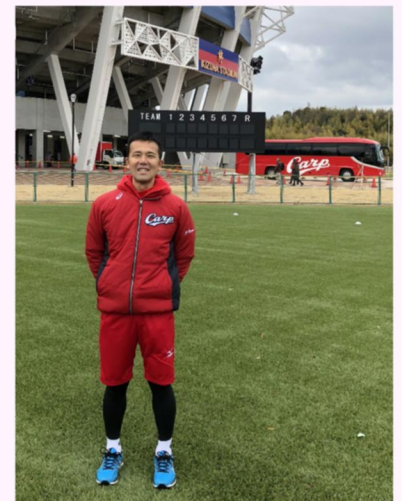
高校卒業後、香川大学経済学部に進学し広島銀行に入行しました。その後本当に自分のやりたいことについて再考した結果、理学療法士免許を取得し、広島市内の整形外科病院でリハビリ業務に従事しておりました。それから縁あり、プロ野球横浜DeNAベイスターズにトレーナーとして入団、その後広島東洋カープにトレーナーとして入団し現在に至っております。

カープでは2軍のコンディショニングを担当しております。ウォームアップから、トレーニング、ケアなどが主な仕事です。2軍には不調で再調整する選手、リハビリから復帰を目指す選手、若手で育成する選手が存在します。こういった選手の力がチーム力を底上げするため、自身の仕事に責任とやりがいを感じて日々取り組んでおります。

2019年には高校時代によく試合をした三原市民球場で、2軍の試合が開催されました。思い出の球場が三原のカープファンで満員となった光景にとっても感激しました。

人生とはわからないものですが、振り返ると人との繋がりのおかげで今の自分があるのだとつくづく感じます。これまで何度か転職しましたが、やはり高校時代に一生懸命取り組んだ野球が、自分の人生の中で大きなきっかけになっていると感じます。

これからも三原高校卒業生であることを誇りに、今後の人生も邁進していきたいと思っております。



母校の後輩は今

- 硬式野球部が第94回選抜高等学校野球大会「21世紀枠」広島県推薦校として選出され、令和3年11月29日に三原高等学校校長室で表彰式が行われました。



- 他にも、たくさんの部や個人が全国大会や中国大会に出場しています。令和3年度の部活動の実績等については、次のURL(三原高等学校ホームページ)をご覧ください。
<http://www.mihara-h.hiroshima-c.ed.jp/zenniti/seikatu.html>
(右のQRコードも可)



行事予定

『三原高等学校同窓会 令和4年度 総会』

開催日時や会場、開催方法などは、現時点で未定です。

別途、同窓会ホームページ等でお知らせします。

同窓会ホームページのURLは次のとおりです。

<https://mihara-h-dosokai.sakura.ne.jp/home/>

(右のQRコードも可)

なお、今年度の当番幹事は末尾に0のつく、20・30・40・50・60回生が担当します。

